

2021.05.28 発行

『そろそろ勉強するか』

2年組6担任

私が高校2年の初頭、『そろそろ勉強するか』と一念発起し、“数学だけ”をやり直して“数学だけ”成績が上がりました。自分では『かなり(学力)いけてる。』と思っていたのですが、受験は失敗して浪人することになりました。

数学を勉強した方法とは、学校の勉強と並行して、1年のできていなかった弱い分野のやり直しです。参考書(夢野台の生徒なら Legend)のまとめと復習(PlayBack)と頻出問題(Map*印)をして、次に他の分野に移り1周してまた弱い分野に戻る。そのうちに数学が得意⇒大得意に変わりました。(自分の弱い分野はスタディサポートでわかりますね。G.W.課題で提出した青い冊子です。)

その後、2年の後半に部活を辞めたのですが、勉強量が増えたのは初めのうちだけで、ダラダラする時間が増えてしまいました。部活をしていた時の方が少ない隙間の時間を工夫し密度の濃い勉強ができていたと思います。そのまま部活を続けて3年で引退した友人は部活で培った集中力が飛躍的に学力を上げる礎になり、私の成績は友人に一気に抜かされました。

卒業時に、『部活も辞めないで隙間時間を活用し、苦手な教科もコツコツ頑張ったらよかったな』と後悔しきりだったことをよく覚えています。

コロナ禍で古典的な社会契約説の世界が現れた欧米の国々

2年5組担任

「(外出制限は) 政府が強制しているのではありません。私たちが自分自身に課す義務なのです」と英国のボリス・ジョンソン首相は国民に外出制限などのロックダウン(都市封鎖)を発表した時に述べた。コロナ禍で古典的な社会契約説の世界が欧米で現れている。

社会契約説とは「人間は自由になると互いが敵になり戦争状態になる。」だから「人間は政治体(政府)を作り、投票で主権者として意志を反映させる一方で、政治体(政府)の定める法律に従う。」という17世紀に英国で『リヴァイアサン』を著したトマス・ホブズや『統治二論』『人間悟性論』を表したジョン・ロック、18世紀に『社会契約論』を著したフランスのルソーなどにより基礎づけられた思想である。

コロナ禍の今にあてはめると「各人が自由に振舞えば感染は拡大し『戦争状態』のようになる。政府を媒介としてロックダウンなどを自らに課すことにより、感染の拡大防止という『真の自由』を確保する。」ということだ。

ドイツのメルケル首相、フランスのマクロン大統領も国民に対して同様の内容を述べていた。欧米では社会契約説が根付いているのだと私は思った。

同調圧力が強い日本？

2020年4月7日から5月24日まで日本では新型コロナウイルス感染拡大防止のために緊急事態宣言が出された。5月25日に安倍晋三首相は首都圏と北海道で続いていた新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言を解除すると表明した。「我が国では、緊急事態を宣言しても、罰則を伴う強制的な外出規制などを実施することはできません。それでも、そうした日本ならではのやり方で、わずか1か月半で、今回の流行をほぼ収束させることができました。正に、日本モデルの力を示した。」と成果を強調した。日本モデルとは法的な拘束力のある欧米の都市封鎖とは違い、政府が国民に「お願いする」という形をとった自粛であった。

4月から5月の緊急事態により新型コロナウイルス感染拡大は防止でき、世界中から日本はモラルが高いと評価された。ただ、新型コロナウイルス感染症は対処が非常に難しい。ある時に感染拡大防止に成功した国や地域が、次の時には感染が拡大してしまうという事例は枚挙にいとまがない。日本もこの例から漏れず感染者数は増えている。長期間のコロナ対策に人々が疲れたためか、若者はコロナで重症化することが少ない、コロナで亡くなる人は少ないといった報道が増えたりしたためか、日本人の行動に変化が生じている。「不要不急の外出は控えてください。」とアナウンスがあっても街に出る人は多い。

「このことから考えると日本は同調圧力が強いだけではないのか。みんなが自粛するなら私も自粛するが、（自分は感染しても大丈夫だが、基礎疾患のある人、高齢者は感染すると重篤化するということを深く考えず）みんなが出歩くなれば、私も出歩く。」というだけではないのか。「同調圧力が強い社会は、一人一人が自分で善悪を考えないので一線を越えると、すぐに崩れてしまう。」という指摘がなされている。

「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」を効果的にするには、より強い罰則事項などを定める必要があるという声がある、しかし、法とは国民が主権者として定めたものであるという認識が政府にも国民にも必要なのではなかろうか。

そして、今回の新型コロナウイルス感染症は古典的な社会契約説に支えられた自由と民主主義を謳う国々への試金石となっている。現状では強権的な国家が新型コロナウイルス感染症を抑え込んでいる一面がある。民主主義国家は新型コロナウイルス感染症の抑え込みに苦慮している。新型コロナウイルス感染症に対する切り札として、海外では昨年度からワクチン接種が始まり、日本でも2月から行われている。

しかし、ワクチン接種が行われても、集団免疫の獲得が確認されるまでは「**マスクの着用、手洗い、3密を避ける、他者に配慮する**」という自覚ある行動が求められるのだ。

6月行事予定

4日(金)文化祭動画USB提出(昼休みまでに生徒指導部・)

8日(火)人権講演会(6、7限) 10日(木)文化祭準備(3限まで授業)

11日(金)文化祭 16日(水)新制服プレゼン(放課後)

17日(木)生徒指導講話(7限) 27日(日)英検(2次・校外)